

# 令和7年度孤立集落状況把握・支援訓練 (富山県小矢部市・内閣府)

## 実施報告書 (概要版)

### 富山県小矢部市について

- 富山県小矢部市は富山県の西端に位置し、北は高岡市、西は石川県に接し、南北に半円形をなした市域の面積は約134km<sup>2</sup>である。
- 三方を最大標高346mの稲葉山をはじめとする丘陵山地に囲まれ、平坦地は一級河川小矢部川が南から北北東に向かって市域を貫流する穀倉地帯である。



### 主な被害想定

- 小矢部市内では過去に集中豪雨による大規模災害を経験しており、特に土砂災害の予防・応急対策が重要となっている。
- 訓練の対象となった各地区は中山間部に位置しており、集落まで繋がる道路や集落内には土砂災害特別警戒区域がある。



## 訓練概要

- 訓練想定：各地で土砂崩れや地すべり等が発生し、国道471号線や石川県境付近の主要道路が土砂災害により寸断され孤立したものの。  
自主避難所となっている集落の集会所付近も崖崩れが発生し、ともに孤立している隣集落の集会所への避難の検討が必要な状況。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年9月20日（土）00:00～00:00  
【孤立集落状況把握・支援訓練】令和7年10月12日（日）8:00～10:30  
【訓練実施後WS】 令和7年10月12日（日）11:00～12:00
- 主催：小矢部市
- アドバイザー：立命館大学政策科学部 井ノ口 宗成 教授
- 参加者数：約30名
- 参加機関：峯坪野町内会・谷坪野町内会及び地域住民、南谷地区防災会、小矢部市消防団南谷分団、砺波地域消防組合、株式会社フルテック、富山県
- 訓練項目：安否確認訓練、情報把握・伝達訓練、避難誘導訓練・避難所運営訓練、物資輸送訓練
- 訓練の特色：訓練対象地区は2集落で、各集落で実施する安否確認・情報伝達・避難訓練の後、実際に歩いて安全な地点まで地区を横断する訓練を実施した。  
物資輸送用ドローンによる孤立地域への輸送ルートと、電波状況の検証を実施した。

## 訓練の成果

### 【成果】

- 集落内75世帯のうち、30名近くが参加するなど、ほとんどの世帯からの参加が得られた。
- 集落を超えた住民との連携、ドローンの有効活用など、孤立集落の状況を把握するために必要な対応を広く確認できた。
- 訓練参加を契機に、参加した2集落で地区防災計画を策定に向けて行動している。

### 【課題】

- 山間部であることも影響し、防災無線やスターリンクが繋がりにくく、情報収集用ドローンも電波の不調により飛行に支障をきたすなど、通信面での課題が顕在化した。

9月20日(土) 9:00~12:00 訓練実施前ワークショップ

- 集落の地域特性、土砂災害時の避難方法や安否確認、孤立時の避難所運営について、座談会で議論した。
- 道路が寸断され得る場所があること、夜間に地震が発生した場合の対応など、現実的に考えることができたという意見が挙がった。

10月12日(日) 8:00~10:30 孤立集落状況把握・支援訓練

- 地区ごとに住民の安否を確認し、その結果を防災行政無線により報告した。
- 避難所に移動し、避難所開設訓練を実施した。
- 対象集落から数km離れた場所から物資輸送用ドローンによる物資輸送訓練を実施した。

▼住民の安否確認



▼集会所へ集合



▼避難する住民



▼本部からの要請を把握



▼ドローン搭載カメラから上空の様子を確認



▼ドローンによる訓練の様子を投影した画面



10月12日(日) 11:00~12:00 訓練実施後ワークショップ

- 訓練の振り返りとして、できたこと、改善したいこと、今後やりたいことについて意見交換をした。
- 実際に集落を歩いて行き来することで具体的なイメージが湧いたとの意見があった。

▼ワークで用いた資料

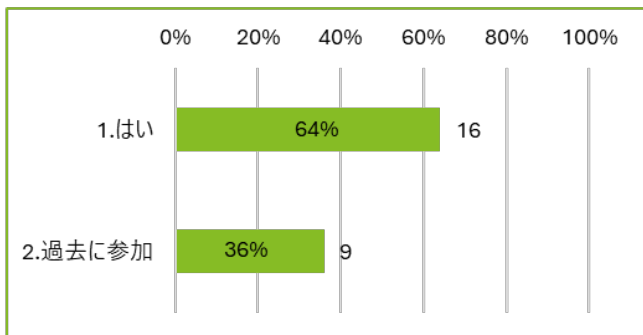


▼グループワーク

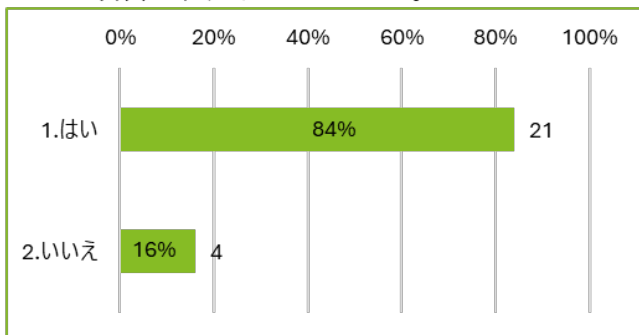


アンケート結果

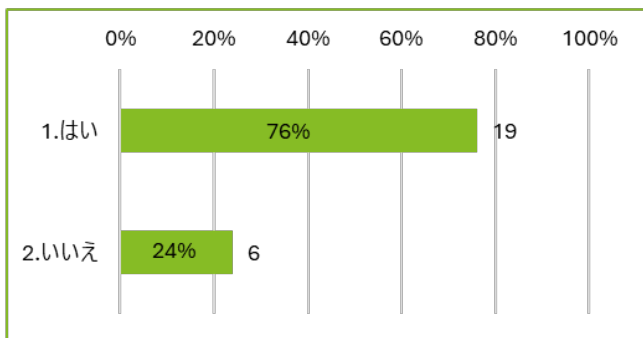
1. 地域の防災訓練に参加したのは初めてですか。



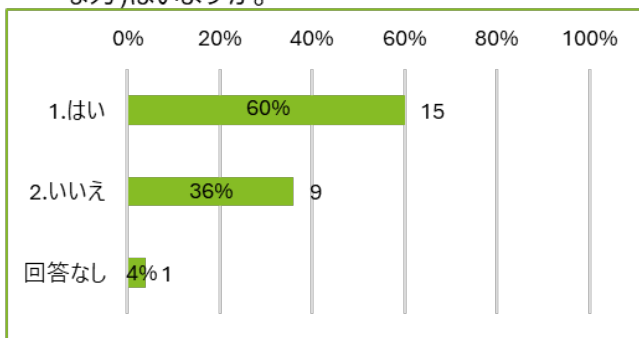
2. 今回訓練に参加し、災害に対する備えの課題や改善方法が分かりましたか。



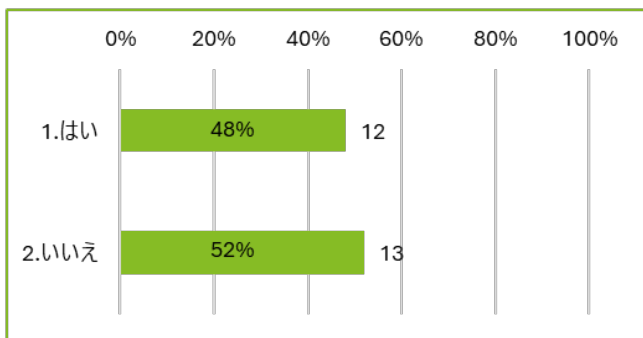
3. 地震や大雨が発生した際、お住まいの地域のどこに、どのような危険があるか知っていますか。



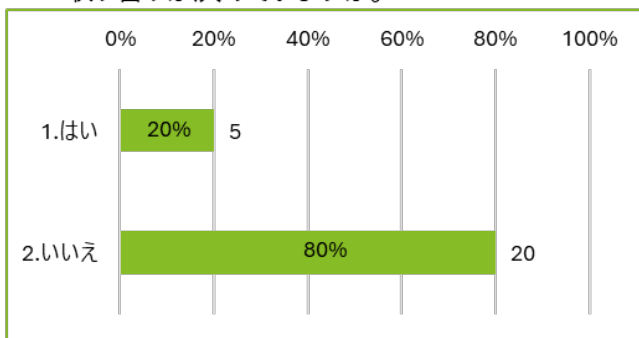
4. あなたの周囲や近所に避難行動要支援者(自力で避難することが難しく、周囲の支援が必要な方)はいますか。



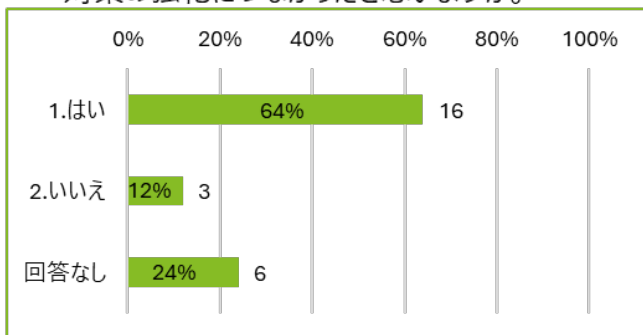
5. 自宅に3日以上以上の備蓄品はありますか。



6. 災害時に家族や近所同士で、どのように連絡を取り合うか決めていますか。



7. 訓練後のワークショップの内容は、地域の防災対策の強化につながったと思いますか。



8. 今回のワークショップや防災訓練を通じて、災害への備えの意識は高まりましたか。

